

令和三年度一般選抜学力検査問題

国語

(一時間目 六十分)

注 意

- 一 問題用紙と解答用紙、メモ用紙のそれぞれの決められた欄に、受検番号と氏名を記入しなさい。
- 二 問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 三 問題は1ページから6ページまであります。これとは別に解答用紙とメモ用紙がそれぞれ一枚あります。
- 四 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	
氏名	

一 「聞くこと」に関する検査

二 次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

現代において、人工知能（ＡＩ）は著しい進歩を遂げています。①
 社会生活のコンカンとも言える経済活動においても、人の代わりに②
 動いてくれるＡＩの需要が拡大しています。しかし、ＡＩにはでき
 ないこともあるため、すべてを任せてよいわけではありません。③

また、A Iは、生存を優先したり、利潤を追求したりするような個体としての意思をもっていません。与えられた目標を達成するためにマヨ^④わらず作動しますが、自ら目標を見つけることはないので、ですから、A Iを活用する上で、目標を適切に設定することが重要であり、そのことは人間に委ねられているのです。

- 1 著^①しい 利^③潤 の読み仮名を書きなさい。
- 2 拡^②大 マヨ^④わず を漢字に直して書きなさい。
- 3 任^②せ の活用形を書きなさい。
- 4 ら^②れ の助動詞としての意味を、次のア、イ、ウ、エから一つ選んで記号を書きなさい。
- ア 受け身 イ 可能 ウ 自発 エ 尊敬

四

次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

五 次の【Ⅰ】【Ⅱ】を読んで、1～4の問いに答えなさい。

【Ⅰ】

宋人^{そうじん}に玉を得るもの^うの或り^{ある}。諸^{これ}を子罕^{しかん}に献^{けん}ず。子罕受^うけず。玉を献^{けん}ずる者^{もの}曰^いはく、「以^{もつ}て玉人^{ぎきゆうじん}に示^しすに、玉人^{ぎきゆうじん}以^{もつ}て宝と為^なせり。故^{ゆゑ}に敢^あへて之^{これ}を献^{けん}ず。」と。子罕曰^いはく、「我^{われ}は貪^{むさぼ}らざるを以^{もつ}て宝と為^なし、爾^{なんぢ}は玉を以^{もつ}て宝と為^なす。若^もし以^{もつ}て我^{われ}に与^よへば、皆^{みな}宝を喪^{うな}ふなり。人^{ひと}其^{その}の宝を有^もするに若^{ごと}かず。」と。

宋人^{そうじん}或^{ある}得^{うる}玉^{ぎよく}。献^{けん}諸^{しよ}子罕^{しかん}。子罕受^うけず。玉^{ぎよく}を以^{もつ}て宝^{ほう}と為^なす。爾^{なんぢ}は玉^{ぎよく}を以^{もつ}て宝^{ほう}と為^なす。若^もし以^{もつ}て我^{われ}に与^よへば、皆^{みな}宝^{ほう}を喪^{うな}ふなり。人^{ひと}其^{その}の宝^{ほう}を有^もするに若^{ごと}かず。」と。

【注】

*子罕……宋の政治家

*献ず……献上する

*玉人……宝玉を磨く職人。「玉」は、玉を加工する人、の意

*敢へて……進んで

*爾……あなた。おまえ

*に若かず……に及ばない。かなわない

(「春秋左氏伝」による)

【Ⅱ】

銀も金も玉もな^{しろかね}にせむに優^{まさ}れる宝子^{たからこ}に及^{およ}かめやも^{くがね}
(何にならうか)
(及ぶだろうか、いや及ばない)

山上憶良

(「万葉集」による)

1 【Ⅰ】の曰^いはく【Ⅱ】のな^なにせむ^②を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

2 【Ⅰ】の喪^うふの主語として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 宋人と玉人 イ 子罕と玉人
ウ 宋人と子罕 エ 宋人と子罕と玉人

3 【Ⅰ】の書き下し文を参考にして、献^{けん}諸^{しよ}子罕^{しかん}に返り点を書き入れなさい。

4 次は、【Ⅰ】と【Ⅱ】を読んだ生徒A、B、Cの会話である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

A	【Ⅰ】の文章では、子罕が宋人からの献上品を受け取らなかつたね。
B	宋人は宝物の「a」を献上しようとしたけれど、子罕に与 ^よ つての宝は違 ^{ちが} うものなのね。
C	そうだね。子罕にとって大事なものは「b」という生き方を貫 ^ぬ くことだったんだ。
A	子罕は、それぞれの宝を守ろうとしたんだね。
B	【Ⅱ】の和歌では、憶良が「c」はないと詠 ^よ んでいるわ。
C	子罕と憶良にとつての宝は違 ^{ちが} うけれど、「d」を重 ^{おも} んじていることは共通しているね。
A	自分にとつての宝は何なのか考えさせられたよ。

(1) 「a」に当てはまる語句を、【Ⅰ】の本文中から漢字一字で抜き書きしなさい。

(2) 「b」「c」に適する内容を、七字以内でそれぞれ書きなさい。

(3) 「d」に当てはまる内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 政治家としての力量 イ 己の心を満たすもの
ウ 自由な発想や想像力 エ 裕福で安定した生活

六 言葉の大切さについて、心に残っている言葉を一つ取り上げながら、次の〈条件〉にしたがって、あなたの考えを書きなさい。

〈条件〉

- ・ 題名は不要
- ・ 字数は二百字以上、二百五十字以内